

CAD/CAMを使った白い被せ物について

CAD/CAMとは、コンピューターを用いて設計や製造を行う技術です。歯科におけるCAD/CAMには、歯を3Dカメラでスキャンして型取り、そのデータを元にコンピューターで設計を行い、専用の加工機器にかけることで自動的に白い被せ物が作

られる、というシステムがあります。この技術により、面倒で辛い型取りが不要となり、迅速に精密な被せ物が作られるようになりました。このCAD/CAMで作られる白い被せ物には、保険が適用されるものもあります。



CAD/CAMで作る白い被せ物の保険適用と自費の違い



保険適用のタイプ

プラスチックにセラミックの粒子を混ぜた材質を使用

硬さが天然の歯に近く、噛み合う歯にダメージを与えにくい

自費のものに比べて経年的な変色が起こりやすい

破損した場合などに、2年間は保険適用では作り直しできない

保険適用なので治療費を抑えて、白い被せ物を入れることができる



傷がつきやすいため、プラークがつきやすい



強度的にはそれほど強くないため、歯ぎしりが強い方や力がかかる場所には適さない

自費のタイプ

セラミックやジルコニアを使用



年数が経っても変わらぬ美しさを維持できる



ジルコニアの場合、非常に強度にも優れるので、力のかかる奥歯にも金属なしで使える

天然

自費なので治療費は高めですが、保険適用のものより透明感があり天然の歯に近い



傷がつきにくいいため、プラークがつきにくく、むし歯や歯周病を起こしにくい

後悔先に立たず！お口の異常には早めの受診を

歯の定期健診を受けている方は、お口に異常を感じる前に疾患を発見し、対処することができます。しかし、定期健診を受けていない方は、お口に何らかの異常を感じていても「痛くない」「まだ大丈夫」「特に困らない」など、ご自分では大したことないと思って先延ばしにする傾向があります。その状態を放置すると症状が進行し、下記のように後悔をすることになります。お口に異常を感じたら早めに受診しましょう。



治療が痛くなる



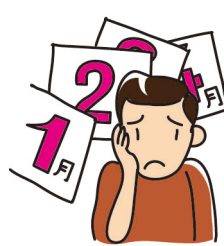
炎症が強いので麻酔が効かないかも...

歯を失う



歯が抜けてしまった...

治療の回数が増える



長いなあ、いつ終わるのだろう...

治療費が増える



健診やばってたら高くついたわ...